

ミヤマハコベとハコベ・コハコベ

小林 浩二

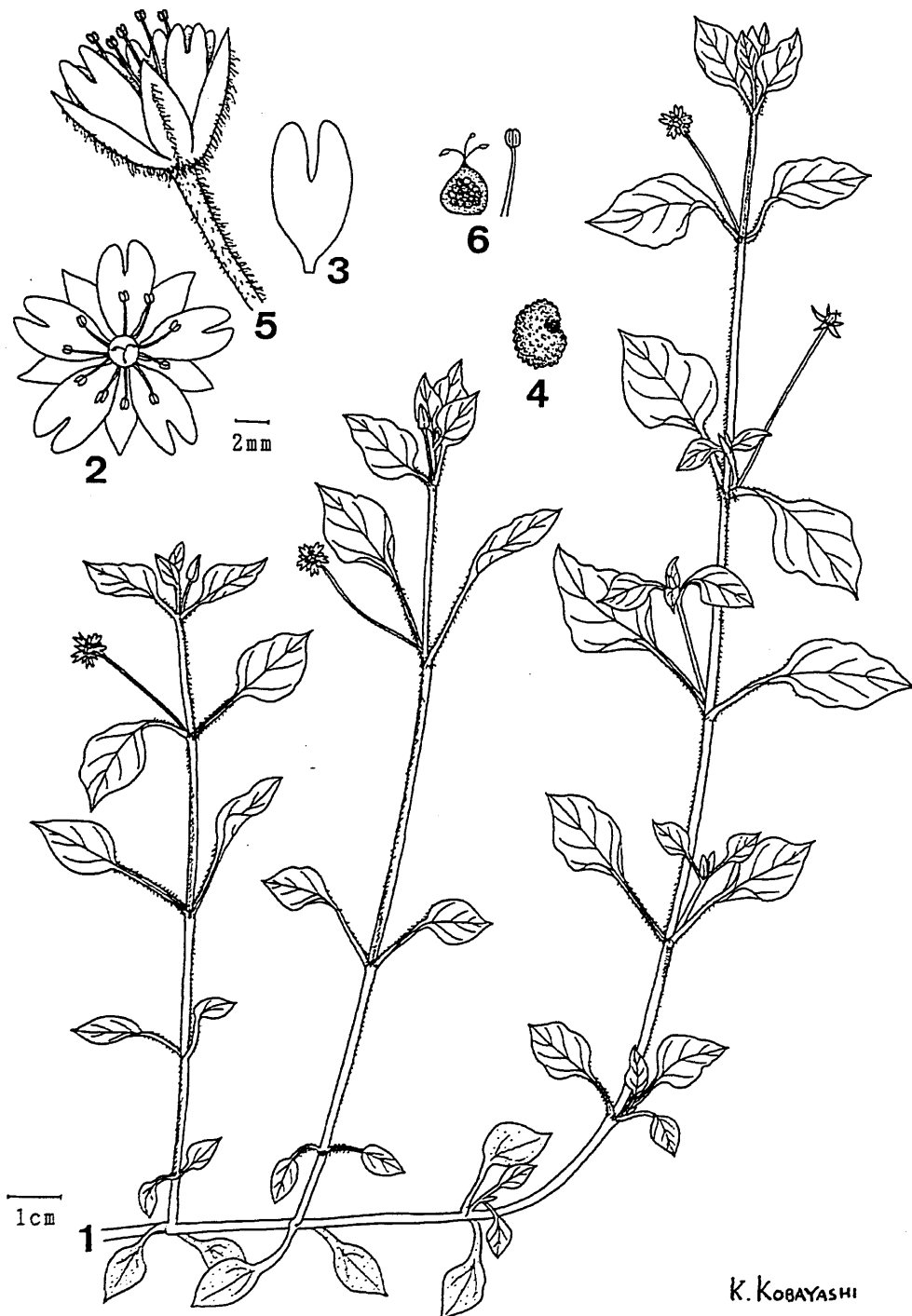
ミヤマハコベ (なでしこ科)

- 花 期 : 4月~5月
 生育地 : 山すそ、川の土手、県内では比較的積雪の少ない所
 生育型 : 多年草
 茎・葉 : 茎はそう生して、下部は地表を横にはって、枝分かれし斜めに立ち長さ10~40cm、片側に毛の列がある(図1)。葉はすべて長柄があり、卵形・卵円形で先は尖り、基部と葉柄に長い下向の白軟毛がある(図1・5)。

- 花・種子 : 花は葉腋から長い花茎を出し開く、花弁は白色、2裂してがく片よりやや長い(図1・2・3・5)。おしべ10本、花柱3個(図2・6)。種子は腎円形、褐色で1.2mm位で半球状の突起がある。

- 採集地 : 西蒲原郡巻町角田山湯ノ腰30m 1990.4.11 採集

- ノ ー ト : 葉には長い柄があり、がく片の中央部に下向きの長白毛が密につき、花弁はがく片より長く、花はやや大きいことで区別できる。



K. KOBAYASHI

ハコベ・コハコベ (なでしこ科)

- 花 期 : 1月~12月
 生育地 : 道ばた、空地、畑など。
 生育型 : 越年草
 茎・葉 : 茎はそう生して、下部は地表を横にはってよく枝分かれし、斜めに立ち片側にやや上向きの軟毛が生える(図1)。葉は茎と共に緑色で対生し、卵形、卵円形で先端は尖り、全縁で無毛、下部のものは長い葉柄があり、上部のものは無柄(図1)。
 花・種子 : がく片5個緑色で軟毛がある(図2・5)。花弁は5枚で長さはがく片とほぼ同じで深く2裂し、おしべは1~7本(図2・3)。子房は卵形で上部に短い花柱が3個ある(図2・5)。

種子の表面には円型の突起がある(図4)。

- 採集地 : 新潟市五十嵐三の町 1989.6.10採集
 ノート : 春の七草の一つ。小鳥の餌にするためヒヨログサなどともいう。ミドリハコベとよく似ているが、がく片の先端が黒紫色(図5)になることと、種子の円型突起(図4)で区別ができる(図6はミドリハコベ)。花は上向きに開き、花が終わると花茎がのび曲がって下向きとなり、果実が熟するとふたたび花茎が上向きとなり、裂けて種子を散布する。産地により、大型(葉の大きさ60×42mm)となるものもあるが種子を見れば容易に区別ができる。

